

神を第一に

ギレルモ・E・ビアツジ

世界総会副総理

私たちを取り囲む自然をよく見てください。鳥のさえずりに耳を傾け、リスやシカの絵に描いたような喜びように畏敬のまなざしを向け、花の色の濃さ、香りの良さ、羽毛のように柔らかな花びらの質感には感嘆させられます。このように美しい自然を造られたのはどなたでしょうか。私たちの**創造主であり、養い主であり、贖い主である唯一にして真の神**です。

ヨハネはその証として次のように書いています。「**初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった**」(ヨハネ 1:1-3)。「**言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた**」(ヨハネ 1:14)。「その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。『見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ』」(ヨハネ 1:29)。「ヨハネの言葉を聞いて、イエスに従った二人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。彼は、まず自分の兄弟シモンに会って、「わたしたちはメシア——『油を注がれた者』という意味——に出会った」と言った」(ヨハネ 1:40、41)。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネ 3:16)。神の言葉と自然は間違いなく、知的なデザイナー、創造主、そして贖い主であるイエス・キリストの素晴らしい御業を私たちに表しています。

また、ダビデは人として当然の反応をしています。「富と栄光は御前にあり、あなたは万物を支配して

おられる。勢いと力は御手の中にあり、またその御手をもっていかなるものでも大いなる者、力ある者となさることができる。わたしたちの神よ、今こそわたしたちはあなたに感謝し、輝かしい御名を賛美します。このような寄進ができるとしても、わたしなど果たして何者でしょう、わたしの民など何者でしょう。すべてはあなたからいただいたもの、わたしたちは御手から受け取って、差し出したにすぎません」(歴代誌上 29:12-14)。

聖書は私たちの人生の旅路になんて素晴らしい世界観を示してくれていることでしょうか。私たちの神である主は創造主(ゆえに主は全宇宙を所有しておられる)であり、私たちが主を第一に考えることができるように備えてくださっています。しかし私たちは依然として人であり、もろいもので、決断や約束などでしばしば失敗します。では私たちはどうすれば自分の人生において「神を第一に」するという、永続的で幸せな決断に至ることができるでしょうか。同様に、神が私たちに任せてくださっている管理の量の大小に関わらず、神を第一にすることは可能なのでしょうか。

神を第一にするために5つの要素が助けになります。ここでは英語の「first」(第一)のアルファベットを使って紹介いたします。

1. F-Faith(信仰)

神を第一に考えるには信仰が必要です。「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです」(ヘブライ 11:1)。最終的な問題は信頼です。主は神です。創造主です。私たちの必要を満たしてくださるお方です(フィリピ 4:19)。主は私たちの救い主であり、「失われたもの(あなたと私)を捜して救うために来た」(ルカ 19:10)のです。ですから、**聖書を読むことによって主を知れば、信仰が芽生え(ローマ 10:17)、主に対する信仰を持つことができるようになります**。

ソロモンも明確に説明しています。「心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」(箴言 3:5、6)。

私は下記のエレン・ホワイトの引用に見られる偉大な真理について考えてみました。「真理と神の栄光とは、切り離すことができない。われわれは、手近に聖書を持っていながら、誤った見解をもって神をあがめることはできない。多くの人々は、生活さえ正しければ、何を信じているかは問題ではないと主張する。しかし生活は信仰によって形造られる。光と真理が手近にありながら、それを聞き、それを見る特権を利用するのを怠るなら、われわれは事実上それを拒絶し、光よりもやみを選んでいくことになる」(『希望への光』1890 頁、『各時代の争闘』下巻 363-366 頁)。

私は光を選びたいと思います。イエスを選びたいと思います。神が与えてくださったものを管理することも含め、人生のすべての点で信仰によって神を第一に考えたいと思います。あなたはいかがですか？

2. I-Invisible(目に見えない存在)

神を第一に考えるには、信仰だけでなく、モーセが経験したように、「目に見えないもの」に目を向けることも必要です。「信仰によって、モーセは王の怒りを恐れず、エジプトを立ち去りました。目に見えない方を見ているようにして、耐え忍んでいたからです」(ヘブライ 11:27)。私たちは自由に選択できる日々の中でイエスを見つめ続ける決断ができるでしょうか(ヘブライ 12:2)。主は目に見えないお方ですが実在します。モーセも断言しています。「聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である」(申命記 6:4)。主は私たちの歩みを照らしたいのです。

「主は呼びかけておられる・・・この世の助言者を

通してではなく、主の霊によって悟られた目で、これらのことを見るようにと。御言葉をそのまま受け止めなさい。・・・天の栄光の富が、あなたの前と後ろと四方に輝くところに、あなた自身を置きなさい。なぜなら、あなた方は主にあってすべての光であるからです」(『The Upward Look』8月8日 英文、Letter 110、August 08, 1899 裕福な女性へ 英文)。

唯一であるお方を信頼すること。日々、主のみ前に(毎日のデボーションの時間、祈り、主の約束を瞑想し、聖書を学ぶこと)に行くことを決意し、ダビデのように「ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。命のある限り、主の家に宿り／主を仰ぎ望んで喜びを得／その宮で朝を迎えることを」(詩篇 27:4)と心の中で願うことです。

私たちは日々、「主の美しさ」について思い巡らす時間をとっているのでしょうか。毎日早朝に(詩篇 5:4 新共同訳、5:3 口語訳)、「主の聖なる輝き」(詩篇 29:2)を思い起こし、主の美しい品性の特徴を讃美する時間を持ちましょう：愛(エレミヤ 31:3、ヨハネ 3:16)、永遠(ヘブライ 13:8)、聖、真実、正しい(詩篇 75:7 新共同訳、詩篇 75:7 口語訳)(黙示録 6:10)、憐み深い、誠実、慈愛(出エジプト 33:19、哀歌 3:22、23、ヘブライ 13:5)。私たちの神はなんて素晴らしいお方なのでしょう。

3. R-Righteousness(義)

神を第一にすると、目に見えないものに目を向ける信仰だけでなく、神の驚くべき義を経験することです。パウロはその点を理解してこう言っています。「キリストの内にいる者と認められるためです。わたしには、律法から生じる自分の義ではなく、キリストへの信仰による義、信仰に基づいて神から与えられる義があります」(フィリピ 3:9)。そうです。私たちの人生は神の変革の力によって(ローマ 12:2)、「正しい選び」が可能となり、「何より

もまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」(マタイ 6:33)ことが経験できるのです。

私たちが神を第一に選ぶのは、神が私たち一人ひとりのために計画を持っておられることに気づいたからであり、パウロも私たちに与えられた特権を確約しています。「ですから、神がわたしたちを通して勧めておられるので、わたしたちはキリストの使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい。罪と何のかかわりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。わたしたちはその方によって神の義を得ることができたのです」(2 コリント 5:20、21)。

4. S-Serving God(神に仕える)

神を第一にすると、行いの伴った信仰、目に見えないものに目を向けること、神の義を経験することだけでなく、「神に仕えよ」という最も重要な主の呼びかけに応えることです。

イザヤは主が私たち一人一人に望んでおられる重要な経験を彼の人生を通して説明しています。「そのとき、わたしは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか」(イザヤ 6:8)。

私たちはイザヤと共に、この重大な召命に喜んで答える準備ができています。「**わたしがここにおります**。わたしを遣わしてください！」(イザヤ 6:8)。神を第一に考え、日々神の呼びかけに応える特権を経験するために、私たちは確信を持ってこう言わなければなりません。「**私は行きます**」。

エレン・ホワイトは『キリストへの道』の中でこのように言っています。

「ただ必要なのは本当の意志の力とは何であるかを知ることです。意志とは人の性質を支配してい

る力、決断力、選択の力です。全てはただ意志の正しい行動にかかっているのです。神は人間に選択の力をお与えになりました。つまり人がそれを用いるようにお与えになったのです。私たちは自分の心を変えたり、また自分で愛情を神にささげることにはできません。けれども、神に仕えようと選ぶことはできます。意志は、神にささげることができません。そうすれば、神は私たちのうちにお働きになって、神の喜ばれるように望み、また行うようにしてください。こうして性質は全くキリストの霊に支配されるようになり、キリストが愛情の中心となり、思想もまた彼と一致するようになります」(『希望への光』1950 頁、『キリストへの道』59-63 頁)。

神を第一にすると決断し神に仕えることに人生をささげるとき、あなたの人生は平安で包まれるでしょう。「キリストの奉仕に献身された魂は、世が与えることも奪うこともできない平安を持つ」(エレン・ホワイト『今日の私の生き方』英文 176 頁)。

5. T-Treasures(宝物)

神を第一とするために必要なことは、行いの伴った信仰、目に見えないものに目を向け、神の義を経験し、神に仕える決意をするだけではなく、天の父が私たちの手にゆだねてくださった財産をどのように管理するか、与えられたものの管理においても神を第一とするかにも表されます。良い僕であることによって私たちは主から祝福の言葉をいただきたいものです。『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ』(マタイ 25:21)。

私たちはこの世で悪の力との霊的な戦いの中にいますが、主は私たちが成功し、あらゆる誘惑に打ち勝ち、常に主を褒め称えることを望んでおられます。しかしここで質問です。ただの人が神から何

か盗むことができるでしょうか。あなたは「私たちはどのようにあなたから盗みましたか。」と尋ねると、「十分の一と献げ物によってあなたがたは私から盗んでいるために、あなたがたの国全体が呪いの中にあるのだ。十分の一をすべて倉に納めなさい。そうすれば、わたしの家には食物がある。これによって全能の主を試しなさい。そして私が天の門を開いて貯える場所がないほど多くの祝福を注ぎ出さないどうかを見なさい」(マラキ 3:8-10 新国際訳 NIV)と主は言われます。

私たちが神の教えを自分の生活の中で実践するとき、私たちの人生、家族、そして教会にとって、この上ない祝福となります。「**神の大いなる御業を支えるために最もよく組織され、ゆとりのある教会は、霊的に最も繁栄している**」(エレン・ホワイト『教会への証』3巻、405 頁、英文)。

◆わたしの決心◆

今週、毎日このように祈ります。「主よ、あなたを第一にすることができるように助けてください。あなたが私の人生と家族を祝福するために用いてくださった財産を、忠実に、惜しみなく用いることができますようにお助けください。私は生活と家族のすべての点であなたを第一に考え、十分の一と定期的な割合に基づいた計画的な献金を惜しまず忠実でありたいと思います。イエスの聖なるみ名によってお祈りいたします。アーメン」。